目標および成果指標の設定　記入様式

活動団体名：　一般社団法人ゼロエミやまなし

上位関連計画にみる地域の将来
○地球温暖化対策推進法や政府の目標：2013年度比で2030年までに46％削減、2050年までにｶｰﾎﾞﾝﾆｭｰﾄﾗﾙ達成
○第5次エネルギー基本計画における、2030年に実現を目指す再エネの電源構成比率：22～24％、
2030年に実現を目指す実質エネルギー効率（最終エネルギー消費量／実質ＧＤＰ）35％減。
○現在の人口：42500人、将来：38125人（2030年）、32500人（2045年）（日本の地域別将来推計人口（平成30年推計））
○地域の総合計画に示された将来目標　現状：2013 年度（21,566t-CO２）→目標：2030年度40％削減（8,627t-CO２削減）
○地域の環境分野の上位計画の将来目標　現状：●●→目標：●●（●年）　現状：●●→目標：●●（●年）

→

①ありたい未来
※どのような地域にしたいのか、何を引き継いでいきたいのかなど、具体的にお書きください

○2050年には『持続可能でwell-beingなCO2ゼロやまなし』が実現している。
○2030年にはSDGsの目標が達成されて持続可能のめどがついている。
○2020年代には卒FITした太陽光発電や小水力発電等を電力源とした地域新電力会社ができ、超小型モビリティやグリーンスローモビリティがその電力で稼動し、地域の足として利用され、脱炭素な移動社会を実現している。
○地域でつくられる再エネとの共存が進み、地域で生活する為のエネルギーが、地域内で確保され、IT技術の革新により、それが人々に平等にシェアされるようになる。
○Society5.0技術により人々は地域の恵みを地域の人全員が平等に享受できるようになり、必要なところへシェアもできるようになる。
○計画的な地域資源の利活用が進み、美しい景観や、豊かな自然や、生物の多様性や、街並みや、歴史も、継承される。
○そして人々は、いきいきとして、楽しく笑顔である。well-being北杜が実現する。

②具体的な取組
※誰が何をするのか、主なものをお書きください。
【プロジェクト１】RE100の地域電力を地域でシェアし地域循環共生圏へ（山梨自然エネルギー発電㈱、TIS㈱、北杜市、ゼロエミ）
【プロジェクト２】木質バイオマスの熱利用について(㈱日比谷アメニス・㈱森のエネルギー研究所・峡北森林組合・㈲天女山）
【プロジェクト３】ゼロカーボン観光プラットフォーム(NPO清里観光振興会、(公財)キープ協会、㈱清里の森管理公社、㈲あおいとり）
【プロジェクト４】ZEB/ZEH化・県産材利用の促進　(㈲スタジオアンビエンテ、木の国サイト）
【プロジェクト５】都市と地方をゼロカーボンで結ぶ（㈱日比谷アメニス、慶応大学大学院SDM、事業構想大学院大学）

→

↓

③短期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値（2021年度末）	実績値（2021年度末）	単位
環境	地域新電力事業の検討	地域電力に係る勉強会の開催	2	2	2	回数
	観光に関するＥＶシェアリング	関係者との調整	3	3	3	回数
	農業に関するＥＶシェアリング	関係者との打合せ	2	2	2	回数
	公共施設等でのEVシェアリング	北杜市との連携と構想の検討	提案	構想検討	構想検討	成果
	地域住民のEVライドシェア	北杜市との連携と構想の検討	提案	構想検討	構想検討	成果
	地域新電力と地域コイン	関係者との打合せ	5	5	5	回数
	ITプラットフォームの構想の検討	ＩＴ支援者との内容の打合せ	5	5	5	成果
	農業の電気化	野立てスタンドを利用した簡易	0	1	3月に簡易	回数
	木質バイオマスに関する打合せ	zoom打合せ	10	10	10	回数
	木質バイオマス集配センターの可能性調査	集配所を想定しての可能性調査	0	４候補地	検証完了	成果
	市内の熱需要簡易調査	公共温泉の熱需要簡易調査	0	３件実施	３月完了	成果
	地域の森林ポテンシャル調査	ＧISを利用した調査打合せ	2	2	2	回数
	観光のゼロカーボンに関わる打合せ	zoom打合せ	5	5	5	回数
	観光のゼロカーボンに関わる勉強会	勉強会の開催	0	３月予定	３月予定	回数
	住む場所・働く場所の整備	zeb/zeh化/県産材利用	3	3	3	件数
	都市と地方でのゼロカーボン１（地方側）	地方側関係者呼びかけ(団体数)	6	6	6	数
	都市と地方でのゼロカーボン２（都市側）	都市側の企業協力者	1	1	1	数
	ジオデザイン北杜モデル作成の検討	別事業にて継続	0	継続中	継続中	
経済	卒FIT電源を活用した事業スキーム	セッション・打合せ数	20	20	継続審議中	成果
	超小型モビリティを駅前やバス停等に導入した低炭素な二次交通の充実	EV、超小型モビリティ	4	4	4	台数
		北杜市の観光ネットワーク連携数	4	4	4	数
	野立てPVからE農機具シェア	簡易的な実証	0	３月予定	３月予定	回数
	ステークホルダー呼びかけ	プラットフォームへの参加者数	0	25	現在継続中	参加
	プラットフォーム構築	セッション・打合せ数	0	20	現在継続中	回数
	PVとEVの電力取引の新たな方法の検討	セッション・打合せ数	0	20	現在継続中	回数
	地域新電力とポイント	セッション・打合せ数（同上）	0	20	現在継続中	回数
社会	再エネの市民啓発（通年）	話に行く	10	10	10	回数
	地域住民とPV事業者の関係性	地域住民とPV事業者との対話	0	1	３月予定	回数
	住宅用PV所有者への意識調査	アンケート調査（市と調整の結果次年度実施へ）	0	次年度へ	次年度へ	
	公共施設でのEVシェアリング	北杜市との打合せ	3	3	3	回数
	農業や林業への利用	小規模テスト参加呼びかけ	2	2	2	人数
	再エネ電力小売制度の課題	セッション・打合せ数	0	1	1	回数
	地域の森林ポテンシャル	森林整備・景観・エネルギーシ	1	1	1	回数
	ゼロカーボン観光意識調査	清里観光事業者対象アンケート	1	1	1	成果
	情報受発信	キックオフ・意見交換会の開催	3	3	3	回数

→

↓

④長期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値（2022年度末）	目標年度 2030-2050年度	目標値	単位
環境	地域電力事業の検討(卒FIT含む)	地域電力会社の稼働	検討中	稼働	2030年	稼働	成果
	卒FIT電源を活用した新たな事業スキームの構築	新たな事業スキームの稼働	検討中	稼働	2030年	稼働	成果
	ＩＴプラットフォームの構築	ＩＴプラットフォームの稼働	検討中	稼働	2030年	稼働	成果
	充電スタンド設置	充電スタンド設置台数	23	50	2030年	1,000	設置数
	ＥＶカーシェア	POC　基盤初期構築	0	1	2030年	調査	回
	EVライドシェア	POC　基盤初期構築	0	1	2030年	調査	回
	自動車のＥＶ化（すべての）	EV車両導入台数	0	100	2030年	20,000	台数
	農林業機器の電化	農業用バッテリーツール等の導入台数	0	500	2030年	20,000	台数
	温泉等の化石ボイラーの転換	木質バイオマスボイラー公共温泉に導入	0	3	2030年	7	台数
	木質バイオマス供給基地検討協	検討会とＦＳ調査 参加団体	0	10	2030年	10	団体数
	清里ゼロカーボン観光協議会仮	観光事業者の参加	0	100	2030年	1,000	団体数
	住む場所・働く場所の整備	zeb/zeh化/県産材利用	0	10	2030年	1000件	件数
	空き家の有効利用	zeb/zeh化/県産材利用	0	10	2030年	1000件	件数
	都市の企業のトライアルチーム	働きに来る個人や企業との連携	0	30	2030年	3,000	企業数
経済	卒FIT電源を活用した事業スキーム	スキームの構築	0	完成	2030年	完成	成果
	小規模PV10kW以下	巻き込み供給計画の協議など	0	20	2030年	2,000	件数
	中規模ＰV(10kW~50kW)	供給ＰOC&供給計画の協議	0	10	2030年	5,000	件数
	清里や長坂からの二次交通の検討	EV導入台数	0	20	2030年	200	台数
	野立てPVからE農機具シェア	導入へ	0	1	2030年	2,000	件数
	EVカーシェアライドシェア	事業計画	0	20	2030年	200	台数
	PVとEVの電力取引の新たな方法の検討	セッション・打合せ数	0	20	2030年	20	回数
	地域新電力と地域ポイント	セッション・打合せ数	0	20	2030年	20	回数
	北杜市新電力会社構想	コラボ・支援　打合せ	0	10	2030年	10	回数
社会	再エネ市民啓発	通年通して対話やＨＰ等で発信	ー	4	2030年	50	回数
	PVオーナー協議会(仮称)の発足	供給計画の協議	ー	2	2030年	20	回数
	住宅用PV所有者への意識調査	アンケート調査2022（市と調整）巻き込み・供給計画の協議	0	300	2030年	300	人数
	住民に対する魅力の向上						
	移住者に対する魅力向上						
	自然環境生態系　景観の向上						
	EV車を利用した防災への貢献						
	再エネのMAP化による政策立案への貢献						
	北杜市プラットフォーム機能拡張						

⑤短期指標が長期目標にどのように関わるのかお書きください

＜環境＞短期目標：EV・小型モビリティ導入の検討　→　長期目標：EV車の利用によるCO2削減
短期目標：太陽光発電を扱う地域電力会社の構想を検討　→　長期目標：地域新電力の小売り業者となり、地域住民が利用できるグリーンエネルギーを促進し、再生可能エネルギー利用率をあげる
＜経済＞短期目標：北杜の観光拠点をゼロカーボン化、観光用のポイントの企画を進める　→　長期目標：ＥＶ等での観光客移動により、CO２削減に加え、各拠点での経済効果があがる
短期目標：電力を作る、使うを事業化検討する　→　長期目標：地域に還元できるデジタル化を進め、エネルギーの地産地消による事業を構築、地域経済の循環と活性化を進める（Society5.0＋SDGs）
＜社会＞短期計画：住民に価値を提供するEV及び超小型モビリティを導入　→　長期目標：EV車や家庭で太陽光発電等のグリーンエネルギーを利用することにより、
ポイントが還元される。太陽光パネルに反対であった住民もグリーンエネルギーによる恩恵を得られることで、積極的にグリーンエネルギーを利用するようになる。
※環境・経済・社会がどのように関係し合い、相互に高まっていくのか具体的にお書きください